

スポーツ かわさき

No. 22



川崎市体育協会





川崎市体育協会が設立されたのは昭和23年11月、本年が満40周年になったことを記念して、去る2月4日(土)午後2時から市立労働会館大ホールで記念式典を挙行政いたしました。

式典は会長である伊藤三郎市長の挨拶に始まり体育功労の表彰者21名への賞状・記念品の贈呈、そしてNHKアナウンサー福島幸雄氏の講演へと進んで参りました。

800名収容のホールは、市内各区より集められた市民各層で満員となり、福島アナの語る“放送席から見たスポーツの心”に耳を奪われ、2時間半に及ぶ講演の間、聴衆は身を乗り出して話に引き込まれました。

スポーツマンの人間像を語る

福島アナの講演は、体協の歴史と同じ40年間を、スポーツアナウンサーとして過ごして来た氏が、野球・相撲・オリンピック等、数々の実況放送を経験しながら、取材・放送を通して触れ合ってきた多くの名選手達との交流……彼らがどうス

華やかに そして盛大に!

スポーツと関り合ってきたか、どう精進してきたか、そして、どう人間を見つめて来たか等々の語り合いの中でつかんだ、彼らの優れた人間像に迫り、まことに興味尽きないものがありました。

記念パーティーにも130名

満員の聴衆から多大の拍手を受けて福島アナの講演が終わった後、会場を1階ホールに移し、祝賀パーティーが開かれましたが、祝賀会はNHK横浜放送局の河原さとるキャスターを中にして、華やかな雰囲気のうちに行われました。参加者は体協40年の想い出話に花を咲かせましたが、例えば、市体協が設立されたのは戦後の混乱期の中でした。荒廃した市民の心をスポーツによって乗り切ろうという動きが国・地方でおこり、川崎市に於ても期せずして同じ動きが始まりました。

先輩諸氏の努力によって設立された川崎市体協の最初は、僅か8種目団体のみでしたが、以来40年を経過した今は、29種目団体にも増えています。

この数は他都市と比べてみて遜色のないものがありますが、数のみならず、競技力・内容も高いレベルに達しています。

市の努力でスポーツ施設も年々整備され、その充実により、国際的なスポーツ交流も盛んになり、中国瀋陽市やリエカ市等、川崎市姉妹都市との親善試合も行われております。

また、国内の大きな競技会も川崎市を会場として、毎年のように開催されておりますし、市民の



川崎市体協 創立40周年記念式典

スポーツに対する関心も強く、市民マラソン大会・各種市民大会・スポーツ教室等は、定員オーバーの状況がしばしば見られるようになっていきます。

40周年記念誌の発行

これらの最近の体協の営みを記録として残しておくため、体協内の広報委員会を中心として、記念事業の一つとしての40周年記念誌編集委員会が設けられ、2月4日、「ここ、10年の歩み(昭和54~63年度)」が発行されました。66ページの小冊子ながら、今後の体協の貴重な資料として残ることでありましょう。

記念事業といえば、式典に続いて2月12日(日)に行われたバスケットボール日本リーグ川崎大会も大きなイベントでした。その模様は次ページに掲載してありますが、川崎市体育館の4,000名の観衆の前で展開された白熱の試合は、まさに記念事業にふさわしく、観客に多大の感銘を与えました。

ともあれ川崎市体育協会は、40周年という大きな節目を終えて、次の50周年に向け出発するところです。市民の皆様方のご支援・ご協力を頂きながら、全役員一丸となって頑張っていく覚悟でおります。どうぞ今後共、市体協発展のために一層のご指導・ご鞭撻をお願いいたします。



祝川崎市体育協会 創立40周年記念祝賀会



創立40周年記念表彰

体育功労者

芳賀学人	陸上競技協会
芹田和雄	野球協会
大部武男	バレーボール協会
名取治昭	バスケットボール協会
田中正誼	バドミントン協会
平井光男	卓球協会
菱沼一夫	テニス協会
日野原守健	軟式庭球協会
本村健	〃
保坂博	剣道連盟
上野富夫	〃
石渡澄穂	弓道連盟
木村三郎	相撲連盟
左澤重明	山岳協会
長谷川武雄	水泳協会
土田彌輔	スキー協会
古川幸一	〃
今村貞	ラグビーフットボール協会
大沢英雄	サッカー協会
武井長七	体操協会
中村佐太男	空手道連盟

熱戦！超満員の観衆美技に酔う

バスケットボール日本リーグ川崎大会

川崎市体育協会

40周年記念事業

本年、設立40周年を迎えた川崎市体育協会では、去る2月4日に行われた記念式典に続いて、2月12日、川崎市体育館に於てその記念事業として、バスケットボール日本リーグを招聘実施した。

試合は「いすゞ」対「NKK」をはじめとする日本バスケットボール界最高峰の激戦で展開され、開場前から詰めかけた超満員4,000人の観客は、その美技にしたたかに酔わされ、記念すべき時を過ごした。以下はその観戦記である。

バスケット日本リーグ

川崎大会を観戦して 小坂末吉

今回のこの川崎大会は、川崎市体協のみで運営される為、役員の出合わせが入念に行われたのはもちろんのこと、会場設営も前々日の金曜日に済ませ、当日ともなれば、役員は全員9時から各役務分担に当たるなど、万全の準備体制で行われた。

10時に開門。第1試合の女子二部「興銀」対「三菱重工」が始まる11時には約7割の席が埋まり、第2試合男子二部「新日鉄」と「日立」が始まる頃には立見が出る程の超満員となった。

この試合は大接戦で、後半残り1分というところで、新日鉄が勝利をものにするという迫熱のゲーム展開であった。

第3試合の「いすゞ」と「NKK」は、共に川崎に工場を持つという縁(ゆかり)のチームであり、しかも今年のリーグでは両者の対戦は1勝1敗で、今回が第3戦目。「いすゞ」が勝てば、優勝トーナメントの資格を手中にできるともあって、観客の応援も一段と熱の入ったものとなっていた。

試合は「NKK」が3点シュートを連発して有利に進めたものの、外人2人を有する「いすゞ」が、前半終了まぎわに逆転し、後半もヤングを中心に安定した力を発揮して勝利を収めた。

試合を観戦して感心したことは、「いすゞ」は梅津・熊谷という高年齢の選手二人がチームをまとめ、徹底してシステムオフェンスを採っていた

が、このシステムを採れるということの裏には、鈴木篤や目(さつか)をはじめとする若い優れた選手が大勢いて、それぞれが自らの役割を確実にこなすことのできる力を持っていたということであろうと思う。

「NKK」もかつてはリーグ優勝を何度も果たしたチームであるので、前半のような試合を持続できたなら、必ずや復活できるものと思った。

尚、「いすゞ」はこのあと2月19日に三菱電機を敗り、3月5日には松下電器を敗って、リーグ初優勝を遂げたことを申し添えておく。



バスケットボールフェスティバルと

日本リーグを終えて

バスケットボール協会広報委員 松田裕行
昨年12月18日、既に恒例となったフェスティバルが川崎市体育館で行われました。

小学校から一般までの代表選手が一堂に会して、日頃の練磨の成果を見せてくれましたが、小学校の試合では「これが本当に小学生か」というほどの素晴らしいプレー振り。また、中学・高校の部では、かつて小学校選手として出場した者達が遅く成長して、以前よりは一回りも二回りも上達したプレーを見せてくれました。そして最後の一般の試合では、東芝柳町と富士通の女子が、正確なシュートや、ディフェンス・オフェンスの巧みな攻防

戦を見せてくれ、それは素晴らしいフェスティバルでした。私達バスケットボールに携っている者は、一方でまた、より高いレベルの試合を見たい、という欲求を常に持っています。それを満たしてくれたのは、体協40周年記念の日本リーグ川崎大会でした。フェスティバルと同じ会場で行われたこの大会では、いうなれば、フェスティバルでは、同じ仲間同志と「やる」側であったのが、同じ仲間と「見る」側となりました。

つい2ヶ月前に「やった」仲間と、日本最高レベルの試合を「共に見る」経験は貴重なものでした。おそらく小・中学生にとっては、初めての生



の観戦であったことと思います。これらの小・中・高校生達が、明日の日本リーグの選手を目指してくれることと思います。何年か後に、フェスティバル出場者が、日本リーグの選手として活躍することを夢として、底辺拡大すなわち競技人口を増やすことに力を注いでいきたいと思います。



第22回バスケットボール日本リーグ 全日本バスケットボール総合選手権

東芝女子、初優勝！

地元、東芝女子チームが二冠に輝いた。兩大会共、接戦の連続で本年度のチーム目標である“全易一丸”が充分発揮され、念願の初Vを飾り、記念すべき本市体協40周年事業に花を添えた。



黒江里子



佐藤香代子



五十嵐 薫



宮内久美



鈴木邦代



西森智津



藤川直美



木下美和



田中佳代子



大信田靖子



大野貴子



領家佐由里



井手和子



近石香緒里



江原美恵子



ソディ・ブラウン

コンディションに恵まれ、新記録続出！



第3回市民マラソンに1812人が参加

11月の第3日曜日に行われることになった市民マラソン大会が、昭和63年11月20日(日)、等々力陸上競技場を発着点とする多摩沿線道路コースに繰り広げられた。

午前10時、20Kmの部の483人が好コンディションの中スタートし、午前10時10分、10Kmの部の1329人がスタートし、各々のレベルで健脚を競い合った。

今回は11個の大会新記録が出るなど、本大会の着実なレベルアップが窺えた。本年も11月19日(日)に行われる予定だが、区別対抗などの新企画を盛り込み、更なる定着化を図ってもらいたいと思う。

なお、各部門5位までの記録は次の通りである。

(◎印は大会新記録)

【20Km】

35歳以下	優勝	厚地健一郎◎	1° 05' 45
男子	2位	堀 政美◎	1° 05' 52
	3位	野田 晴彦	1° 07' 04
	4位	小出 敏之	1° 07' 17
	5位	國武 隆和	1° 09' 12
35歳以下	優勝	湯本恵美子	1° 28' 05
女子	2位	宮本真知子	1° 33' 35

3位	小林美佐子	1° 36' 01
4位	上岡 良実	1° 37' 06
5位	浦木 姿子	1° 39' 10

36~49歳	優勝	横尾 和夫◎	1° 07' 22
男子	2位	鈴川 光二	1° 08' 57
	3位	白髭 武志	1° 09' 22
	4位	荒木 和男	1° 09' 49
	5位	井口 明	1° 10' 03

36~49歳	優勝	藤川 ユリ	1° 27' 49
女子	2位	佐藤 美紀	1° 31' 34
	3位	高橋母美子	1° 33' 11
	4位	渡辺 ノブ	1° 33' 48
	5位	福間 常代	1° 37' 09

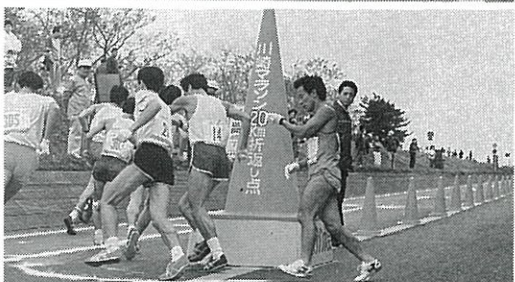
50歳以上	優勝	松村 忠三◎	1° 12' 27
男子	2位	木村 富昭	1° 12' 53
	3位	保坂 強	1° 18' 26
	4位	吉井新太郎	1° 19' 09
	5位	小松 友治	1° 20' 10

50歳以上	優勝	笠原久美恵	1° 49' 35
女子	2位	二宮 政栄	1° 55' 14

【10 Km】

35歳以下	優勝	松本 光史	32' 02
男子	2位	山本 浩	33' 10
	3位	渡辺 義治	33' 32
	4位	中村由利加	34' 00
	5位	山口 光治	34' 12
35歳以下	優勝	湯川 陽子	39' 38
女子	2位	谷本 信恵	42' 29
	3位	中條 薫	44' 26
	4位	佐藤 公子	45' 02
	5位	滝沢 淳子	45' 49
36~49歳	優勝	星野 政信 ◎	32' 05
男子	2位	石井 秀夫	33' 43
	3位	奥山 信三	34' 21
	4位	若松 栄	34' 45
	5位	加藤 泰彦	34' 46
36~49歳	優勝	星野真理子 ◎	41' 42
女子	2位	山口 道子 ◎	43' 02
	3位	高坂 純子 ◎	43' 27
	4位	山岸 純子	46' 17
	5位	高橋かよ子	46' 25
50歳以上	優勝	山崎富士生	35' 20
男子	2位	田原 兼晴	35' 30
	3位	水上 稔	35' 46
	4位	斉藤 貞雄	36' 02
	5位	林 平二郎	36' 27
50歳以上	優勝	小林 裕子 ◎	46' 51
女子	2位	小野美津子 ◎	47' 54
	3位	篠原い満子	51' 43
	4位	田端万寿子	52' 15
	5位	池上 孝子	53' 17

高校生男子	優勝	風巻 亮 ◎	31' 54
	2位	大澤 浩太	32' 16
	3位	浅村 泰明	32' 23
	4位	弘田 喜紀	32' 34
	5位	川元 進	32' 39
高校生女子	優勝	大富 法子	45' 04
	2位	寺門 仁美	47' 19
	3位	山中 洋子	47' 58
	4位	田中美千代	48' 33
	5位	門倉 綾子	59' 57



等々力庭球場

240組が参加!
家庭婦人、
テニスに燃える
第3回家庭婦人テニス大会終る

第3回を迎えた本年度の家庭婦人テニス大会は、去る10月25日から27日までの3日間、中原区等々力庭球場で開催された。幸い好天にも恵まれて、240組の選手達がコートに熱戦を繰り広げ、期待された成果は十二分にあった大会であった。

技術的にも年毎にレベルアップが見られ、タイプブレイクのゲームも数多くあった中で、A・B・C・Dの各組毎に次のチームが上位に勝ち残った。

- A組決勝 { 小林伸子 8-5 { 相原輝子
 { 内川安子 { 八幡美智子
3位 { 白井雅子 { 高橋友光子
 { 堀典子 { 雁本ヒロコ
B組決勝 { 市川龍子 8-5 { 藤本悦子
 { 伏田真澄 { 上田まき子
3位 { 腰尾美津子 { 森田啓子
 { 山本光子 { 中原陽子



- C組決勝 { 谷口美奈子 9-8 { 岡田清子
 { 池田清子 { 成田まり子
3位 { 中野増子 { 上條佐志子
 { 宮本 { 中野清子
D組決勝 { 井上裕子 8-6 { 宇佐美ルミ子
 { 本富由美子 { 筒井真知子
3位 { 鈴木直子 { 戸田美智子
 { 的井りつこ { 松尾佐和子

平成10年(9年後)に開催の
国民体育大会神奈川大会について

第2巡目に入った国民体育大会は、来たる平成10年(9年後)に神奈川県で開催されることが正式に決まっています。

「第53回国民体育大会夏・秋季大会開催順序の決定」について、昨年3月、日本体育協会長よりの正式通知を受理した県は、昨年4月に県教育庁管理部に「国体準備室」(専任職員8名)を設置、市町村体育主管課長会議や県体協加盟団体理事長会議等を数回に亘り招集、本格的な準備に入りました。

競技会場の決定や、選手強化対策についての意見交換も活発となってきていますが、本年に入ってから第1段階として、各市町村に対し会場地希望調査が来ています。

川崎市では13種目団体より開催要望がありましたので、川崎市体協として取り纏め、市当局へ提出しました。今後は県段階で調整の上、平成3年には正式決定を見ることになるものと思われます。

ねりんピック'89

全国健康福祉祭おおいた大会

昨年度から開かれたシルバーエイジのスポーツ大会。昨年の第1回は兵庫県へ全国から8万人のシルバー選手が集まり、すこやかな笑顔と汗で交流しましたが、本年は第2回目。大分市が主会場となり、11月3日から6日まで4日間の予定で開催されます。

昨年は突然のことで、代表選手の選考が困難でしたが、民生局のお骨折りと体協種目協会の協力で、何とか選手団を送ることが出来ました。しかし、本年度は開催要項も早目にきまり、該当種目はそれぞれ予選会を行いますので、参加希望者は奮ってお申込み下さい。

- 種目 卓球8名 テニス9名 軟庭9名
- 弓道8名 剣道8名で60才以上男女
- エントリーメ切 平成元年7月末日
- 問合せ 予選会の期日や大会要項等については各種目協会にお問合せ下さい。



**本市在住 16 選手
第 44 回国体
冬季大会で好成績**

競技会がそれぞれ開催されましたが、これに先立って本県代表の選手結団式がスケートが1月14日、スキーが2月14日、それぞれ行われました。本市体協では市内在住の同国体出場選手に激励費を贈り、本大会でのそれぞれの選手の健闘を祈った。本市在住選手の競技成績は次の通りである。

スケート・アイスホッケー競技

スピード成年男子A	浜谷孝行) 2000m	6位入賞
" " "	武山 靖		
" " "	C 桧山四郎	1000m	3位入賞
" 成年女子A	斉藤香苗	1500m	3位入賞
" 少年男子監督	原 時夫	3000m	"
" " 選手	石崎直樹		
アイスホッケー少年男子	松本裕二		
" " "	浦島 隆		

スキー競技

アルペン成年男子1部A	本間勝利		
" " "	A 真鍋 慈		
" " 2部	浦島秀明		
" 成年女子1部A	大野 薫	ジャイアント	2位入賞
ノルディック成年男子A	高屋晴光	スラローム	
" " "	B 米山充治		
" " 2部	広瀬修一		
" " 複合	村井延彦	コンパインド	6位入賞
		1部A	

次の国体での一層の活躍を期待したい。

第44回国民体育大会冬季大会は、平成元年1月28日から31日までの4日間、北海道帯広市に於てスケート、アイスホッケー競技、また同2月19日から22日までの4日間は旭川市に於てスキー



おかげさまで...体協賛助会員着々と増加中!

本市体協の賛助会員制度も3年目を迎え、市民の皆様方のご協力で、会員数も着々と伸びております。昭和63年度、次の方々が新たに会員となりましたのでご紹介します。(順不同・敬称略)

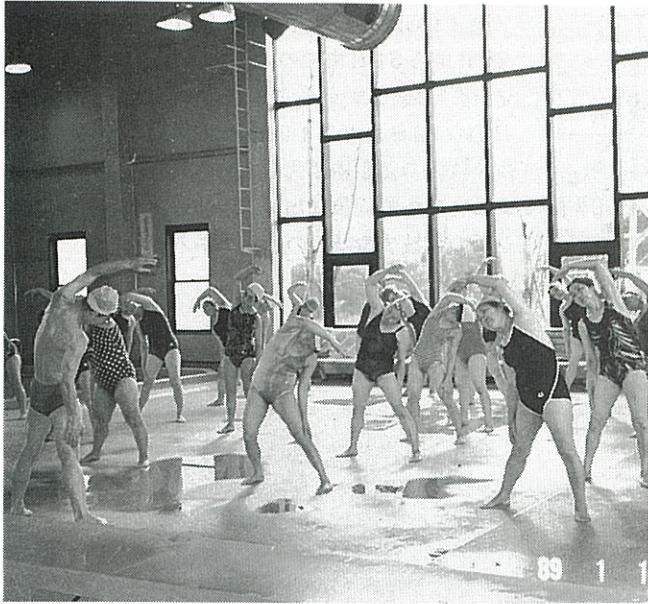
○ 団体会員

- 1. 左沢不動産 1口
- 2. 少林寺拳法協会 2口
- 3. 川崎東D.B協会 2口
- 4. 京浜化工(株) 1口
- 5. 陸上競技協会 1口
- 6. N.K.K飯塚剛 1口
- 7. 中村建設工業(株) 1口
- 9. 中川工業(株) 1口
- 9. 養心館剣道道場 1口
- 10. 武井建設(株) 3口

○ 個人会員

- 1. 粒針 豊 2口
- 2. 小林宏子 1口
- 3. 黒沢勝吉 1口
- 4. 早川芳男 1口
- 5. 青柳 彰 1口
- 6. 田沼正男 1口
- 7. 増田計一 1口
- 8. 宇治野辰八 1口
- 9. 金子三郎 1口
- 10. 鈴木伸一 1口
- 11. 古川義明 1口
- 12. 崎口守彦 1口

- 13. 阿佐美 隆 1口
- 14. 徳元三郎 1口
- 15. 浅田紀久治 1口
- 16. 岸 忠夫 1口
- 17. 遠藤幸一 1口
- 18. 品田義尚 1口
- 19. 河原 章 1口
- 20. 中西康悦 1口
- 21. 大西弘樹 1口
- 22. 原口貴史 1口
- 23. 高橋 勝 1口
- 24. 金井宏祐 1口
- 25. 篠木庄吾 1口
- 26. 石川 滋 1口
- 27. 本田真吾 1口
- 28. 村田 享 1口
- 29. 長谷川弘幸 1口
- 30. み幸寿司 1口
- 31. 鈴木修悦 1口
- 32. 鈴木康夫 1口
- 33. 谷脇清子 1口
- 34. 西野 隆 1口
- 35. 谷川忠博 1口
- 36. 佐久間雅彦 1口
- 37. 阿部和光 1口
- 38. 倉持和夫 1口
- 39. 保田 満 1口
- 40. 矢野昌平 1口
- 41. 車 耕作 1口
- 42. 小原英機 1口
- 43. 平野 誠 1口
- 44. 小林哲二 1口
- 45. 山本十三二 1口
- 46. 吉村敏雄 1口
- 47. 菅原 淳 1口
- 48. 福井仁也 1口
- 49. 小貫恵津子 1口
- 50. 山田吉三郎 2.5口
- 51. 田中和徳 2.5口
- 52. 田原兼敏 2.5口
- 53. 飯塚英教 2.5口
- 54. 斉藤義晴 2.5口
- 55. 伊藤梅吉 2.5口



短期婦人水泳教室
に参加して

わかり易く
楽しく指導

中原区 吉田房子・草加ともる

「水泳の楽しさと冬場の運動不足を解消して」の広報を見て、急ぎ参加の申込みをしました。

実は、私は二度目の参加で、水に入るのが嫌いではないのですが顔を水に入れるのが嫌で、去年の多摩川スイミングスクールでの教室では、ただもがいているばかりでした。そう、その時の教室では、本当に私に出来るかなと思っていました。10名くらいの皆と手をつないで潜り、ブクブクハーハー、ブクブクハーハーと何回も何回も呼吸の練習。そしてまた、プールのふちにつかまってはバタバタと足の練習。

「足首を上げないで！股から、股から！」と何度も云われて…。

いくら直されてもすぐに悪い癖が出てしまい、自分でもいやになってしまうこと度々。

このような人々を教えてください先生方も大変なことだ、とつくづく思いました。

ひとりではとても出来ないことも、仲間同志でやるととても楽しく、顔を上げずに10mは進むようになり、やがて25mは潜水で進めるようになった時は、涙が出るほど嬉しくなりました。

今度、二度目に参加してみると、最初の時と比べると大変に楽しく、2日目頃にはすっかりと勘を取り戻した感じ。最終日には先生が賞めて下さるので、仲間同志で大笑い。もう25mはゆうゆうと泳いで、ことしの夏休みは孫達とプールに行き、潜ってジャンケンをして遊びたいと思っています。

今後も尚一層練習に精進したいと思っています。先生方、どうも有難う！

中原区 古谷みち子

日頃の運動不足のツケが廻って来たのか、体力の衰えを感じ始めた私が、何かできる運動をと考えていた折、市体協主催の水泳教室のことを市政だよりで知り、渡りに舟と申込みました。

申込みをしたのは良いが、さて、果たして皆さんと一緒にいけるだろうか、と心配でなりませんでした。然し、何事も当ってみるもので、指導員の皆様や、体協の方達のやさしく親切なご指導に接して、そんな心配はすぐに消え去りました。

水に浮くこと、足のケリで前進すること、呼吸の方法など、大変にわかり易く基本を指導して頂き、6日間の日程の中で、短距離ながらも楽しく泳げるようになった時の喜び、本当に感謝の気持ち一杯です。

泳ぎを覚えたのもさることながら、この教室で知り合えた方達との交流も忘れることが出来ません。

この講習で水に慣れた自信をもとにして、今後は、運動不足の解消にずっと水泳を楽しみ続けて行きたいと思っています。

主催者・指導員の皆様方に厚くお礼申し上げます。

スポーツ事故の 安全救護をめざして — 日赤救急法講習会終わる —

スポーツ事故の発生は、万全の注意と対策をもって防止しなければならない…とはいっても、生身の人間のこと、事故はいつ、どんな形で起こってくるか判らない。そこで万一の際に対処できるよう正しい応急手当ての仕方を勉強しておこうということで、市体協が赤十字救急法を主催し始めてからすでに12年目。ことしも去る3月11日から19日にかけて、1週間の日程で講習会が開催され、30人のスポーツマンが連日猛勉強に汗を流しました。



赤十字救急法講習会を受講して

(中原区) 小川 俊子

山歩きの会に入会して、大勢の方と一緒に山を歩くようになった。自然の中でのスポーツであるだけに、いつ何が起こるか判らない。そこで万一の時の用意と、事故防止のために救急法を受講することにした。

川崎市体育協会から日程表が届く。学科・実技とも中々ハードな予定だが、とにかく全力投球してみよう……!

「救急法とは何か」から始まり、巻軸帯(包帯)三角巾の使用法。そして骨折・脱臼・捻挫の手当法。呼吸停止時の蘇生法。中毒・熱射病・やけ

どの応急手当法など、赤十字県支部の先生方の熱意と迫力のあるご指導に、仕事の疲れも忘れて引き込まれて行く。受講者一同も皆真剣だ。

「成人の1分間の脈搏・呼吸数は？」日頃は考えもしないことだが、すべて大切なことばかりである。

会社の昼休みは同僚を相手に、そして帰路は姉のところに寄り、包帯法の練習を繰り返した。

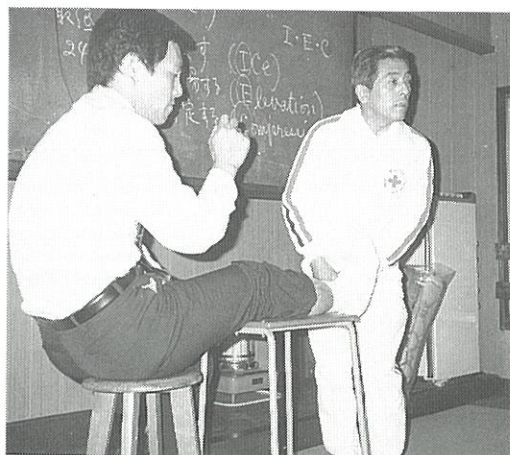
日程最終日の合宿は、川崎市青少年の家で、若者と一緒に夜を徹しての実技復習。しらじらと明けゆく気配を感じながら、問題を出し合っては学んだ学科。その日の朝の、何と清々しかったことが、学生時代以来の体験であった。

いよいよ検定試験。緊張がひろがり、実技が始まる。教え子達を見守る先生方の眼差しがとても印象的だ。

思えば10年前、母が「くも膜下出血」で倒れた時、町医者は貧血と診断した。意識混濁の母の様子に父が救急車を呼び、一命をとりとめた。

「いざ!」という時、知識があるのと無いのでは大違いだ。大勢の方、特にこれから結婚される方、お年寄りと同居される方、そしてスポーツを愛している方々には、是非、受講していただきたいと思う。

日頃、企業戦士の中で働いている私には、この講習会は何もかも新鮮で、先生方のボランティアに倣する姿にも感銘を受けたし、指導助手をして下さった大勢の川崎体育救護クラブの皆様方に厚くお礼を申し述べたい。今、私は、山登りを終えて帰って来た日のように、心が充実しています。



第40回神奈川県総合体育大会日程一覧表

競技名	第 1 日		第 2 日	
	期 日	会 場	期 日	会 場
冬季 スキー競技			3月 3日(日) 3月 5日(日)	長野県野辺山ハイランド スキー場
夏季 ソフトボール 競技	8月13日(日)	大和市下福田野球場 " 引地台野球場 " つきみ野公園野球場 " 宮久保野球場	8月20日(日)	大和市引地台野球場 (第1日雨天順延の場合 は第1日会場)
軟式庭球競技			8月20日(日)	平塚市軟式庭球場
水泳競技			8月27日(日)	県立体育センター
陸上競技			9月24日(日)	県立体育センター
秋季 バレーボール 競技	9月10日(日)	藤沢市秋葉台 スポーツセンター (一般男子) 県立体育センター (一般女子)	9月24日(日)	県立体育センター (一般男子) (一般女子) 県立県央地区体育センター (青年男子) 県立西湘地区体育センター (青年女子)
	9月10日(日)	県立相模原球場 大和市引地台野球場 茅ヶ崎市営球場 厚木市玉川球場 座間市市民球場	9月24日(日)	県立相模原球場 茅ヶ崎市営球場 (第1日雨天順延の場合 は第1日会場)
	9月10日(日)	県立体育センター 藤沢市秋葉台 スポーツセンター	9月24日(日)	県立体育センター
			9月24日(日)	藤沢市秩父宮記念体育館
	9月10日(日)	平塚市見附台体育館(一般) 大和市スポーツセンター(青年)	9月24日(日)	平塚市見附台体育館(一般) (青年)
			9月24日(日)	県立武道館
			9月24日(日)	県立武道館
			9月24日(日)	県立武道館
	9月10日(日)	相模原市総合体育館	9月24日(日)	相模原市総合体育館
			9月24日(日)	県立伊勢原射撃場

▼ 編集後記

◆3月発行予定のこの22号、体協創立40周年記念誌と重なって原稿整理が遅れ、1ヶ月も延びてしまった。“まだ出ないのか”との問合せや催促が各市民館にあったとか、こんなに待っていてくれる人がいたのかと、有難いやら申し訳ないやら。次回は遅れないよう、年3回の発行は確保するよう絶対に頑張る！◆「スポーツ事故の応急手当法」紙面の都合で今回は休みました。次号をお楽しみに…。◆体協行事にご参加の市民の

皆さんからの原稿が増えてきたのは嬉しいこと。市民体育をもっともっと盛んにするために、一般の方の投稿もお待ちしています。どうぞお寄せ下さい。

発行編集 平成元年4月20日(22号)

川崎市体育協会・同広報委員会
〒210 川崎市川崎区宮本町6番地
(川崎市教育委員会体育振興課内)
電話 (044) 200-3312

印刷 秋田印刷有限会社 766-5650